



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索

WEB: <http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail: koe@siminnokai.com



第177回さよなら原発！金曜行動

1月15日(金) 18:00~19:00 小倉駅デッキに20名を超える「さよなら原発北九州連絡会」の人々が集まり、寒空の下、熱く「さよなら原発！」を訴え、署名活動を行いました。

今回の177回目の金曜行動では、北九州うたごえのメンバーの方が、平和の願いを込めて歌いました。田村衆議院議員も駆けつけ、マイクを握って、原発推進グループを厳しく批判し、再稼働阻止を叫びました。



若松区民怒る！ PCB処理住民説明会100名参加

PCB処理施設が、市との協定値の11倍以上のベンゼンを排出した問題で、1月21日、若松生涯学習センターで、PCB処理監視会議が昼に、夜は住民説明会が開かれた。



施設を運営する国出資の「中間貯蔵・環境安全事業(JESCO)」は、「ベンゼンが発生するとの認識がなかった」と説明。事故の公表もせず、無責任で、隠蔽的な管理体制が浮き彫りになった。「『これから気をつけます』では済まない！」「責任は誰がとるのか！」「市はJESCOに『出て行け』と言わないのは、この程度なら良いとおもっているのか！」などの厳しい叱責の意見が続出。住民の怒りが収まらないまま散会となった。

緊急講演会 「城野遺跡をなぜ残すのか！」 九州考古学会長が講演 日本考古学会長も訴え

1月16日(土)「城野遺跡の現地保存をすすめる会」が武末純一氏(九州考古学会会長福岡大学教授)の緊急講演会を開催した。

会場は立ち見席が出るほど満席となり、古代史(弥生時代)のロマンを探るお話に聞き入った。

武末純一氏は「遺跡は地域住民のもの。城野遺跡はみなさんの財産です」「住民参加で城野遺跡をどのように残していくか、自らデザインしてください」と熱く語られました。

日本考古学会会長も参加され、講演会の後、おふたりの先生が説明役で、現地見学会を実施しました。



戦争法廃止！2000万人署名 マラソンリレー宣伝

1月23日、寒波到来の土曜日、戦争法廃止のための全国2000万人署名に、小倉駅デッキで、各団体がリレーして街宣アピールをしました。

11:00~12:00 北九州憲法共同センター、12:00~13:00 日本共産党、13:00~14:00 新日本婦人の会、14:00~15:00 公益財団法人健和会、15:00~16:00 北九州地区労連が担当し、それぞれ20名以上が参加、各団体が工夫して訴えました。総勢128人の参加となり、306筆集めました。

思いを繋ぐ良い企画、またやりましょう！
2000万署名を集めるまで！



寒さに負けない！ 戦争法廃止街宣・集会に400名参加！ ～平和をあきらめない北九州ネットの19日定例集会～

1月19日(火) 18:00~18:45 寒風が吹く小倉駅に400名が元気な戦争法反対のアピールをしました。歌あり、青年のコールあり。民主の城井元衆議院議員、共産の藤沢議員、社民の森本市議、福島市議、弁護士や医師、FYMの青年などの主張がありました。



次回予定：3月19日(土) 14:00~リバーウォーク

178回さよなら原発金曜行動 「さよなら原発！3.13北九州集会」 第3回実行委員会

1月22日、参加者は少なかったが、178回さよなら原発金曜行動をいつもの小倉駅デッキで実施、署名と3.13集会への参加を訴えました。その後、第3回実行委員会で具体的な日程を確認し、出来上がったチラシを各区ごとに、手渡しました。



第20回幹事会開催加

1月26日(火)第20回幹事会には21名が参加、すべての報告が充実した内容を発言し市民の会の今後の活動の展望を拓く会議になった。

池上代表の開会挨拶のあと、石田市議の市政報告、三輪事務局長から経過報告と活動方針の提案があり、4名からそれぞれの市民運動に関する意見発表があった。



- ・城野遺跡の保存運動(永田さん)
- ・八幡市民会館・図書館保存運動(加来さん)
- ・小倉南区の革新懇運動(黒坂さん)
- ・さよなら原発運動(棚次さん)

第21回幹事会は、年間活動とそれを支える予算案を審議する重要な会議として、4月に開催予定としました。

第179回 さよなら原発金曜行動

1月29日(金)、今月最後のさよなら原発金曜行動は、雨まじりの寒い日となった。

いつもより小人数の参加だったが、高浜原発3号基が再稼働されてしまった日でもあり、怒りの金曜行動になった。青い空合唱団のうたごととリレートーク、最後はシュプレヒコールでアピールを行った。



沖縄・基地問題 松本剛氏(琉球新報記者)講演会

1月30日(土)、「沖縄・基地問題の深層と民主主義～緊迫する辺野古新基地を軸に～」と題して、琉球新報編集局次長の松本剛氏がパワーポイントを使い、沖縄県民の命の重さの露骨な二重構造を告発し、不屈の基地闘争についても情熱を込めて語った。



講演会の後、第2部として、賛同団体・賛同個人の意見交換会を実施しました。主催は、「辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会」。

「さよなら原発！金曜行動」 第180回を迎える！

2月5日(金)、18:00 小倉駅でのさよなら原発！金曜行動が180回目を実施した。

棚次代表、高瀬県議などのリレートークと署名活動を元気に取り組んだ。



その後、「さよなら原発3.13北九州集会」の事務局会議を開催した。

原発なくそう！ 原告一万人記念フェスティバル 1300人が参加、原発のない未来へ

2月6日、玄海原発訴訟原告1万人突破を記念して、フェスティバルが開催された。トークゲストは、吉原毅さん(城南信用金庫 前理事長)。ライブゲストは、中川敬さん(ソウル・フラワー・ユニオン)。1300名参加者は、原発のない未来に確信と展望を持った。



森英樹氏(名古屋大学名誉教授)講演会開催 「安保法制=戦争法廃止への展望」を語り 2000万統一署名に弾み

主催：北九州憲法共同センター
協賛：平和をあきらめない北九州ネット

2月13日(土)14:00~16:30 会場は、ほぼ満席。森英樹氏は、ユーモアをまじえながら戦争法廃止の展望を総括的に明快に講演され、2000万署名に取り組む私たちの活動に確信と弾みをもたらしてくれた。



昨年来の安倍暴走を窮地に追い込んだかってない国民運動を総括し、安倍改憲策動の変遷を解説し戦争法をめぐる戦いと今後の課題を提起された。

- 1 参議院採決の無効・やり直し要求をもとめる
- 2 戦争法施行による危険を明らかにしこれに対決していく
- 3 税制・財政問題から軍拡から福祉優先をもとめる
- 4 戦争法廃止・閣議決定撤回の国民連合政府の呼びかけ

以上の課題達成のために、2000万署名に本気になって取り組むことの大切さを強調された。

2016

3月
March

今後の予定

- 毎週(金)18:00 小倉駅デッキ
さよなら原発金曜行動
日時：毎週金曜日 18:00~19:00
場所：小倉駅デッキ
- 3月9日(水)18:30 コムシティ
大西広講演会「南シナ海と日中関係について」
資料代500円 主催：日中友好協会北九州支部
- 3月13日(日)11:30 勝山公園
「さよなら原発！3.13北九州集会」
11:30~ライブ、
13:00~本集会
14:30~パレード
- 3月19日(土)14:00 リバーウォーク
戦争法廃止街宣・集会

